

未来の電気利用をデザイン

ニチコンは蓄電技術で「目標、電気代 0 円。」を提案します

～読売新聞朝刊紙面で、未来の電気利用に関する企業広告を掲載～

ニチコン株式会社（代表取締役社長：吉田茂雄、本社：京都市中京区）は、10 月 17 日（月）の読売新聞朝刊紙面において、「目標、電気代 0 円。」を提案する 15 段の広告を掲出します。ニチコンの蓄電技術で、電気に関する様々な課題を解決すると共に、地球と家計に優しい電気の“家産家消”を実現する未来の暮らしを提案します。



蓄電の nichicon

近年、急増している夏や冬の電力需給のひっ迫や、世界的なエネルギー価格の高騰など、これまで当たり前と思われてきた良質な電気の供給に対して意識を改める時が来ています。電力需給のひっ迫やエネルギー価格の高騰に加えて、地震や台風など災害大国の日本においては、安否確認や命を守る情報を得るためにテレビやスマートフォンを使用することは避けられず、停電時の電気の備えに大きな不安を抱えています。

今、こうした課題を解決する手段として各方面から高い注目を集めているのが、蓄電池です。政府の掲げる 2050 年までにカーボンニュートラルを実現するための「グリーン成長戦略^{※1}」では、エネルギーマネジメントの重要な手段として蓄電池の活用が盛り込まれており、各自治体でも蓄電池の設置や活用を促す積極的な取り組みが行われています。

ニチコンは蓄電システムのリーディングカンパニーとして、2012 年に JET 認証^{※2} 第 1 号となる家庭用蓄電システムを発売して以降累計で 11 万台以上（2022 年 3 月現在）を販売してきました。

ニチコンがデザインする“未来の暮らし”は、太陽光で発電した電力を自家消費し、余った電力を蓄電池や電気自動車に蓄えておくことで、購入する電気量を大きく削減します。近い将来、家庭で使用する電力はすべて蓄電で賄い、電気代が 0 円になる日がくるのも、夢ではありません。電気を家づくり、蓄え、使い切る“家産家消”を理想とし、電気をスマートに利用する次世代のエネルギーマネジメントを実現することで、地球規模で広がる課題や、身近な生活の不安の解決を目指します。

ニチコンは、太陽光発電の電力を夜でも使えるように業界に先駆けて市場導入した家庭用蓄電システムをはじめ、EV・PHV からの電力を家庭で活用できる世界初の V2H（Vehicle to Home）システム「EV パワー・ステーション[®]※3」など、高度な技術力と柔軟な発想で社会課題の解決に貢献する画期的な製品の創出に努めてまいりました。

さらに太陽電池、蓄電池、EV（電気自動車）搭載電池の 3 つの電池をすべてコントロールし、究極の“家産家消”を実現する「トライブリッド蓄電システム[®]※4」を業界に先駆けて市場導入しています。

「電気を蓄え、上手につかうテクノロジー」のトップメーカーとして、常に「この先も価値の続くもの」をご提案していきます。

※1 「グリーン成長戦略」：2021 年政府が発表した「経済と環境の好循環」を作っていく産業政策

※2 「JET 認証」：一般社団法人電気安全環境研究所が、電気用品の安全法を補完し認証する制度

＜ ニチコンがデザインする未来の電気利用 ＞

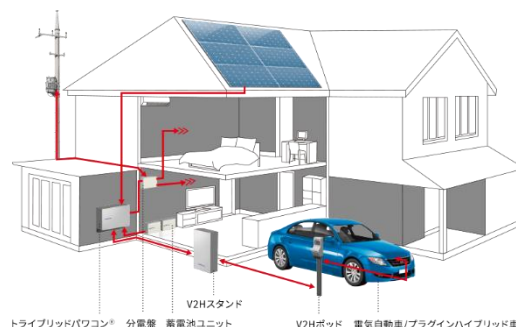
YouTube 動画：

ひろがるニチコンの未来社会～これからの暮らしに快適と安心を～

URL：https://www.youtube.com/watch?v=f_hxduyODME

＜ 暮らしに合わせた柔軟な蓄電システム ＞

「トライブリッド蓄電システム®」は、生活スタイルに応じて柔軟に導入することができます。また、電気自動車に蓄えられた電力を、家庭用にも活用できる世界初の技術 V2H を組み合わせることにより、クルマを暮らしの電源として、活用することも叶います。太陽光パネルのみを設置する小さな構成からはじめても、後で蓄電池ユニットや V2H を追加することができ、電気自動車（EV）を購入したり、家族の人数が増えたりといった変化を踏まえて、システムを暮らしにあわせることが可能です。



※3 V2H システム「EV パワー・ステーション®」



電気自動車に蓄えられた電力を、家庭用にも活用できる世界初の技術。

※4 「トライブリッド蓄電システム®」



太陽電池、蓄電池、EV（電気自動車）搭載電池の3つ全てをコントロールし、究極の“家産家消”を実現するシステム。

< 広告掲載全文 >

「目標、電気代 0 円。」

毎月、何気なく払っている電気代。でも、値上げがこのままずっと続くなら、「いっそタダだったらいいのに」なんて思うこともありますよね。そんな高騰する電気代に、蓄電システムやV2Hシステムという選択があります。

太陽光発電の電力を自家消費し、余った電力を蓄電システムや電気自動車に蓄えておくことで、購入する電気量を大きく削減。近い将来、ご家庭で使う電力はすべて蓄電でまかない、電気代が 0 円になるという日がくるのも夢ではありません。

ニチコンは蓄電のリーディングカンパニーとして、さまざまな家庭用蓄電システム「パワーオアシス®」を展開。V2Hシステム「EV パワー・ステーション®」は電気自動車に蓄えられた電力を、家庭用にも活用できる世界初の技術です。

生活に必要なエネルギーをすべてお家でつくり、環境にやさしく経済的に消費する。そんな未来の暮らしは、もうはじまっています。

< ニチコンとは >

ニチコンは 1950 年の創立以来一貫して、あらゆる電子・電機機器に不可欠なコンデンサや回路製品の開発、製造、販売を手掛けてまいりました。2010 年には「NECST (Nichicon Energy Control System Technology) プロジェクト (現 NECST 事業本部)」を発足し、家庭用蓄電システムや V2H (Vehicle to Home) システム、EV 用急速充電器、公共・産業用蓄電システムなど、環境社会への貢献とビジネスの拡充へ独自の新製品の開発や販売活動を進めています。

ニチコンは今後、「モノづくりからコトづくり」「製造業から創造業への変革」を目指して、期待以上の価値ある製品を提案し、お客さまに喜びと感動を提供してまいります。

< 会社概要 >

企業名： ニチコン株式会社

代表者： 代表取締役会長 武田 一平
代表取締役社長 吉田 茂雄

本社所在地： 京都市中京区烏丸通御池上る

設立： 1950 年 (昭和 25 年) 8 月 1 日

資本金： 14,286 百万円 (2022 年 3 月 31 日現在)

売上高： 142,198 百万円 (2022 年 3 月期 連結)

株式上場： 東京証券取引所 プライム市場

従業員数： 5,587 名 (2022 年 3 月 31 日現在 連結)

業種： アルミ電解コンデンサ、フィルムコンデンサ、小形リチウムイオン二次電池、正特性サーミスタ®ポジアル®、家庭用蓄電システム、V2H システム、EV・PHV 用急速充電器、公共・産業用蓄電システム、スイッチング電源、機能モジュール、医療用加速器電源、学術研究用加速器電源、瞬低・停電補償装置など

連絡先 TEL： 075-231-8461

公式サイト： <https://www.nichicon.co.jp/>

< 本プレスリリースに関するお問い合わせ先 >

配信代行 共同ピーアール株式会社：野島、大塚

E-MAIL： nichicon-pr@kyodo-pr.co.jp

< 企業情報／製品に関するお問い合わせ先 >

ニチコン株式会社 広報・IR室：武田

E-MAIL： takeda.junpei@nichicon.com TEL： 075-241-5338